

秋田県教員育成指標 ～秋田の未来と教育を支える人材の育成を目指して～

学び続ける
秋田の教師

<ul style="list-style-type: none"> ◇学校経営ビジョンの理解と教職員の積極的な参画を支えるフォローアップの発揮 ◇評価システムを活用した学校運営状況の適切な評価と結果の分析 ◇同僚性を育むベテラン教員としてのメンター的役割の理解と実践 ◇地域人材・地域資源の有効活用のための連絡調整と工夫 ◇管理職との連携による効果的な学校情報の発信と適切な情報収集 ◇地域と連携した学校の安全な教育環境の整備 ◇危機管理体制に基づく自校の教育課題への迅速な対応 ◇よりよい働き方を目指す校内分掌システムへの提言・調整 	学校マネジメント力	組織運営力 学校経営力	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校経営ビジョンの明確な提示と組織を動かすリーダーシップの発揮 ◇自校の特色や教育課題の解決に資する柔軟なカリキュラムの編成と実施 ◇学校運営状況の適切な評価、結果を踏まえた施策の改善及び人事評価の実施 ◇教職員の勤務やメンタルヘルスに関する日常的な状況把握と校内ケア体制の確立
<ul style="list-style-type: none"> ◇カリキュラム・マネジメントを軸にした授業改善についての指導・助言 ◇探究型授業を組織的に推進するためのロールモデルの提示 		教科等指導力	<ul style="list-style-type: none"> ◇よりよい働き方を目指す校務分掌システムモデルの構築 ◇地域との連携を通じた安全で安心な学校づくりと危機管理体制の確立 ◇校務に関する情報の収集・分析・活用と情報セキュリティシステムの構築 ◇授業力等の向上に資する教員同士による効果的な校内研修システムの構築 ◇インクルーシブ教育のシステム構築に向けた校内支援体制の確立
<ul style="list-style-type: none"> ◇生徒指導におけるロールモデルの提示と指導・助言 ◇家庭や地域、関係機関との連携のロールモデルの提示と指導・助言 ◇特別支援教育についての自己研鑽と他の教職員への指導・助言 ◇自校の生徒指導やキャリア教育の課題を踏まえた改善策の提示と実施 		生徒指導力 進路指導力	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域と学校との信頼関係の確立 ◇家庭や地域、関係機関との素早い連携と適切な対応の判断 ◇地域と学校相互の活性化を目指した地域人材・地域資源の有効活用
<ul style="list-style-type: none"> ◇校内分掌システムの効果的な活用による若手教員の育成 ◇自校の教育課題の解決に資する研修等の企画・運営による教職員のスキルアップ 		人材育成力	<ul style="list-style-type: none"> ◇実践的なリーダーの育成を可能にする人材育成システムの構築 ◇適切な校務分掌による教職員の資質能力の向上 ◇授業観察や職務の実績に応じた適切な評価と指導・助言
<ul style="list-style-type: none"> ◇高邁な教育理念の追求 ◇教育課題の解決に向けた企画・実践 ◇地域や保護者の教育的ニーズの集約・分析 	管理職・ベテラン教員として 求められる素養	<ul style="list-style-type: none"> ◇高邁な教育理念の追求と達成 ◇教育課題の解決に向けた適切な判断と実行 ◇地域や保護者の教育的ニーズに応える学校経営の推進 	
教職経験活用・発展期【ベテラン教員】		第4ステージ	学校経営推進・充実期【管理職】
ベテラン教員としての自覚と責任をもち、多様な指導経験と広い視点から同僚・若手教員に指導及び助言をし、積極的に組織運営の改善に取り組む			管理職としての強い責任と自覚をもち、大局的な視点から特色ある教育活動を推進するとともに、直面する喫緊の教育課題に対応するマネジメント能力を発揮する

- ◆学校運営推進・充実期
- 校長研修
- 副校長研修・教頭研修
- ◆教職経験活用・発展期
- 専門の実践力向上研修

人事交流を活用した
資質・能力の向上

- I 他県等の人事交流
- II 校種間の人事交流
- III 大学附属学校園との人事交流
- IV 一般行政部門との人事交流

◆実践的指導力充実期

- 教職大学院における現職教員を対象とした研修
- 各分掌・主任等による研修
- 学校組織マネジメント研修
- 中堅教諭等資質向上研修（採用11年目）
- 各主任研修

◆実践的指導力向上期

- 実践的指導力向上研修（採用8年目）
- 教職5年経験者研修（採用6年目）

◆実践的指導力習得期

- 実践的指導力習得研修（採用3年目）
- 初任者研修

第3ステージ (目安:11年目～) 実践的指導力充実期 中堅教員としての自覚をもち、積極的に学校経営に参画するとともに、主任等の分掌に必要な役割・職務に関する理解を深め、組織マネジメント能力を身に付ける 【推進と充実】	① ◇教育活動全体を通じた系統的・組織的なふるさと教育やキャリア教育の推進と充実 ◇体験的な活動の充実に向けた校種間連携と地域連携の推進と充実 ② ◇「問い」を発する力を育成するための教育活動全体を見通した組織的な取組の推進と充実 ◇「問い」を発する力を育成し質を高めるための言語活動の推進と充実及び言語環境の整備と充実 ③ ◇教科指導や生徒指導、学級経営などの自身の実践をもとにした適切な指導・助言	① ◇学年・学級経営案に基づいた運営 ◇学年・学級経営の多面的な評価と改善 ◇保護者や関係機関との連携に関するマネジメント ② ◇学校経営方針に対する建設的な具申 ③ ◇内外環境の把握・改善と学校の特色づくり ④ ◇危機管理マネジメントの実行と評価 ⑤ ◇他校種との接続を踏まえた各種連携の工夫 ◇情報教育の体系的なアプローチ	① ◇児童生徒一人一人の課題に対する指導・支援に係る校内組織等のマネジメント ② ◇児童生徒同士のコミュニケーションの促進を通じたより望ましい学級集団づくり ③ ◇保護者や地域等との積極的な連携・協働を生かした生徒指導 ④ ◇チーム学校としての組織的な支援と保護者や関係機関、地域との連携の推進	① ◇周りの教員に対する専門的な指導・助言の充実 ◇自校の取組の課題の明確化と年間指導計画等の改善と推進 ② ◇児童生徒の主体性や学習状況に応じた多様な単元(題材)構想や柔軟性のある授業展開 ③ ◇各種研究会における中核教員としての企画・運営
第2ステージ (目安:4年目～10年目) 実践的指導力向上期 積極的に学年経営に参画しようとする姿勢をもち、個々の個性・適性・分掌等に応じた資質・能力を向上させる 【実践と改善】	① ◇教育活動全体を通じたふるさと教育やキャリア教育の充実に向けた実践と改善 ◇キャリア発達段階を踏まえた体験的な活動の充実に向けた実践と改善 ② ◇「問い」を発する力を育成するための教育活動全体を見通した実践と改善 ◇「問い」を発する力を育成するための言語活動の実践と改善及び言語環境の整備 ③ ◇若手教員同士による生徒指導や授業分析などの実践的な研修を通じた助言	① ◇学年経営の理解と学級経営への反映 ◇学級経営、家庭との関わり等に対する他の教職員への助言 ◇保護者への啓発活動 ② ◇学年経営方針に対する建設的な具申 ③ ◇コーチングの視点を生かした職務の協働的な遂行 ④ ◇学校危機の洗い出しと未然防止策の策定と実践 ⑤ ◇カリキュラム・マネジメントの視点に立った資源の活用 ◇情報モラルの理解とモラル教育の実践及び改善	① ◇児童生徒一人一人の内面や背景の理解と全職員の連携による適切な指導・支援 ② ◇児童生徒が互いに高め合おうとする学級集団づくりのための指導 ③ ◇保護者との積極的な連携を生かした生徒指導の実践 ④ ◇特別な支援を必要とする子どもの多様性の理解と、自立と社会参加を実現するための適切な指導・支援と改善	① ◇授業評価による継続的な授業改善 ◇児童生徒の実態を踏まえた補足的・発展的学習の適切な計画と実践 ② ◇問題解決のプロセスを重視した多様な学習過程の構築 ◇主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 ③ ◇各種研究会の企画・運営と改善及び研究会への参加による多様な視点からの授業改善
第1ステージ (目安:初任～3年目) 実践的指導力習得期 教員としての心構えや公務員としてのモラル、学習指導要領や教育課程についての基礎的知識及び指導力を身に付ける 【理解と実践】	① ◇キャリア教育の視点を生かしたふるさと教育の基本的な理解と実践 ◇地域に根ざしたキャリア教育の基本的な理解と実践 ② ◇「問い」を発する子どもを育成する取組についての基本的理解と実践 ◇「問い」を発する力の育成の基盤となる言語活動の理解と実践 ③ ◇児童生徒理解や授業づくり・授業改善などにおける自己の諸課題を解決する手段・方法の確認と実践	① ◇学級担任としての責任の自覚 ◇学級経営の基本的な理解と運営 ◇保護者への共感的理解に基づく対応 ② ◇学校・学年経営方針の理解と学級経営への反映 ③ ◇学校組織における校務分掌の役割等の理解と職務の協働的な遂行 ④ ◇担当学級や校内分掌における安全管理への意識付け ⑤ ◇地域人材と資源の把握と活用 ◇ICT活用の基本的理解と技能の習得	① ◇児童生徒の内面の理解と個々の問題に対する組織の一員としての対応 ② ◇学級づくりにおける基本的な生活習慣の確立のための指導 ③ ◇保護者との連携を生かした生徒指導の推進 ④ ◇特別な支援を必要とする子どもの特性や背景の把握と教育的ニーズに応える適切な指導・支援	① ◇学習指導要領の基本理念に基づく授業の工夫 ◇単元(題材)及び単位時間の授業構想と実践 ◇教材研究と教材開発の工夫 ② ◇問題解決のプロセスを重視した探究型授業の理解と推進 ◇主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり ③ ◇校内研究会の重要性の理解と活用 ◇校内研究の成果と課題を生かした授業改善
研修段階 各キャリアステージで求められる資質・能力	本県の教育課題への対応 【本県の共通教育課題】 ①ふるさと教育・キャリア教育の推進 ②「問い」を発する子ども」の育成 ③若手教員の指導力向上	マネジメント能力 ①教育課程の理解と実践 ②教育目標の学級・学年経営への反映 ③学校経営への参画 ④危機に対応できる管理能力 ⑤地域人材や資源、情報の活用	生徒指導力 ①個に応じた支援・指導する力 ②集団に対して支援・指導する力 ③保護者と共に課題を克服する力 ④特別な支援を要する子どもに対して支援・指導する力	教科等指導力 ①教科等指導の基本的な指導力 ②秋田の探究型授業の実践力 ③授業研究・授業改善を推進する実行力

全てのキャリアステージで求められる教員としての基礎的素養

ふるさとを愛し支える自覚と志 教員としての使命感・倫理観・責任感 豊かな人間性と教育への情熱 課題を追究する創造的探究力

採用

採用段階 採用段階で求められる人材像	使命感・倫理観 教育者としての強い使命感と高い倫理観を身に付けている	人間関係形成力 協調性と豊かなコミュニケーション能力を有している	教育的愛情と共感的理解 教育的愛情にあふれ、児童生徒の心身の状況を踏まえ、受容的・共感的に理解ができる	豊かな人間性と探究力 個性豊かでたくましく、常に学び続ける探究力を有している	教科等指導の専門的知識 教科等に関する深い専門的知識と広く豊かな教養を身に付けている
□インターンシップの制度化の検討 □教職大学院生に対する優遇制度	県内各大学と県教育委員会の連携による人材育成			□「教師塾」等への支援 □県が求める教員の資質能力のビジョンの共有	
養成段階 育成する教員の資質・能力の基盤	専門職としての自覚と責任 □教師としての使命感と倫理観 □教育力の向上への心構え □自己管理と心身の健康	協働性と開かれた学校づくり □円滑な意思疎通や関係性の構築 □組織の一員としての自覚と協力 □家庭や地域社会との連携	子どもへの共感的理解と学級づくり □子どもと集団の理解 □個と集団のバランスの取れた学級経営 □子どもの個性の伸長と自立心の育成	授業づくりと豊かな学びの創造 □教育課程の編成に関する理解 □教育内容・教材に関する理解 □効果的な指導方法と授業デザイン	
豊かな人間性と社会性			教師の専門性～子ども理解と授業づくりの基礎～		

教員養成系大学と秋田県教育委員会との連携

- I 秋田県教員育成協議会の開催
- II 県主催事業への参加や総合教育センターの公開講座等の聴講
 - ・学力向上フォーラム
 - ・研究発表会等
- III 各大学が行っている事業を活用した相互交流
 - ・高大接続フォーラムへの参加等

高等学校段階からの教員養成の取組

ミニミニ教育実習の実施

学力向上フォーラム、教員養成系大学附属校における研究会の参観

地域の小・中学校での教職職場体験や学習ボランティア活動の実施

関連する研修・事業等